

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和7年3月14日

東近江市発達支援センター めだかの学校

利用児童数

20名

回収数

14施設

	チェック項目	はい	どちらとも いえ	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	14			訪問を行った日にその都度内容や手立てを具体的に伝えていただき良かった。 本人なりにつもりを持つことで安心でき、視覚支援が有効ということに絵に描いて話すことを取り入れています。 園生活の中での困りごとに対して一緒に考えてもらったり、園の中で実践できる具体的な対応の仕方を細かく伝えてもらえたのでわかりやすく、取り入れやすかったです。 担任とは違った視線で子どもの姿をとらえたり、支援の仕方を提案してくださったので、取り入れやすかった。 担任と支援員が同じ場面を共有した中での助言なのでわかりやすかった。 持ち物カードなど、実物で例を見せてくださったり、また、園ですぐ取り入れられることをいつも提案してくださっていました。 教えて頂いた事は、毎回取り入れながら保育を進めています。 取りかかりやすい内容が多かったため、保育に生かしやすかったです。	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	13	1		支援の仕方や言葉がけなど勉強になりました。 担任では気づけないことを教えてもらったり異なる視点からアイデアをいただけたりしたことで、とても勉強になりました。 今までと違った視点で子どもを見ることができるようになった。 個に応じた支援をしてもらえた。 教えていただいた支援教材を使うと、対象児の思いが伝わって、意思疎通がスムーズになった。 個別の課題では、どういった遊びがどんな力につながるのか、たくさん学ぶことができました。 支援方法が毎回具体的です。 難しい言葉ではなくわかりやすく教えて頂いています。 マカトンサインや実際にどう伝えていくと良いか知ることができました。	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	13	1		実際に場面をみてもらうことで直接困っていることが話せて良かったです。 こちらの困りごとに対して親身になって一緒に考えて下さり、ありがたくやりとりしやすかったです。 その都度、話をしながら保育を進めることができました。 訪問の日に振り返りの時間を必ず取っていただけるので、質問でき、解決することができる。 毎回適切なアドバイスを頂いています。 納得のできる回答をいつも頂いています。 限られた機会でしたが、毎回丁寧にに応じて下さって有難かったです。	

4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	10	4	<p>自分では気づかないことを教えてもらったりできていることを一緒に喜んでもらったりして嬉しかったです。</p> <p>園での実際の姿をみて支援方法を教えて下さるので対応しやすく、児の成長につながっているように思います。</p> <p>園での支援の仕方を教えてもらったことで、かかわり方が分かった。</p> <p>クラス内で長期的に実践できるときはよいが、そうでないときは課題が残ったままになってしまう。</p> <p>保育の限られた時間の中で、計画に添った支援をできるような設定をつくるのが難しいときもある。</p> <p>対象児が、教えていただいた手立てをうまく使って、自分の思いを伝えようとするようになった。</p> <p>すぐに結果には結び付きにくい児で、解消はされないが、軽減はされました。</p> <p>細やかな支援の事について教えて頂き困りごとが軽減されています。</p> <p>実際のクラスの様子や環境を見てもらいながらだったので、よりその子にあった支援方法を知ることができたように思います。</p>	
5	事業所からの支援に満足していますか。	10	4	<p>いくつかのアイデアの中から、その子に合った支援方法を見つけていけるので満足しています。</p> <p>集団での困りごとに対して、その場で助言をいただけるのはありがたいが個のスキルアップはどうしていくと良いかが難しい。</p> <p>時期（5歳児後半）としては、就学に向けたこの時期に来てもらえてよかった。</p> <p>とても満足しています。</p> <p>保護者さんへの伝え方なども含め、色々な面でサポートしてもらえたので、とても良かったです。</p>	
<p style="text-align: center;">その他のご意見</p>				<p style="text-align: center;">ご意見を踏まえた対応</p>	
<p>・ 毎回訪問療育の時間に合わせて保育の内容を組み立てることが難しかった。対応に慣れない分、クラス活動や時間調整に追われ苦慮することも多かった。月二回の療育であるが、欠席になった場合その月が無理なら次の月に3回の療育となり、行事などの関係もあるため、3回は多く感じた。</p> <p>・ マカトンサインについて、職員だけでなく、クラスの友だちも一緒に使えると良いと感じた。</p> <p>・ 1号認定児の場合、訪問日、訪問時間に限りがあり日程調整が難しい。担任が抜ける時間は補助要員をクラスに配置することとなるので、保護者、園、支援センターの最善な時間帯をみつめていきたい。取り出し支援ではないため、同クラスの他児も訪問の先生が特別に遊んでくれると期待している様子が見える。支援児の課題に寄り添うことが優先だが、周りの子への配慮にも気を付けたい。内容をどのような形（電話、回覧レポート、タイミングなど）で訪問担当者に伝えるとよいのか迷うことがあった。訪問担当者が訪問日前に問い合わせをしていただくと情報共有がスムーズにいくのではないかと。</p> <p>・ 月に1～2回の訪問療育で育ちにつなげることの難しさを感じた。当日振り返ることで課題や目指す姿を都度確認し合うことが出来た。その日の本児の様子によって臨機応変に対応して頂き、本児も支援員（私）も普段通り安心して過ごすことが出来た。普段の何気ない行動や叱咤の対応に対してもプラス思考で意味付けして下さるおかげで、今後同じような活動（行動）をしても狙いを持って接することが出来、私自身の意識改革に繋がった。</p> <p>・ 個人のペースであればできることでも集団の中では力が発揮できず、場からはずれたり、課題に向き合えなかつたりする児に対して、個々の支援があることは良かった。</p> <p>対象児についての情報交換を密にすることができ、保護者支援の体制を同じ方向で進めることができた。</p> <p>対象児の支援方法として、その子だけ特別な物を取り入れることで他児との違いを感じて嫌がることもあり、さりげない支援方法だと、より取り入れやすいのではと思った。</p> <p>クラスの活動に入れるように支援して下さったり、先取りで活動をいれてくださるので、本人も一緒にできて嬉しそうにしている。個別活動での様子を丁寧に伝えてくださり、本人の様子や変化を知ることができました。半年の期間でしたが保護者の方が参加したり、様子を見る機会が少なかったことは残念です。（小学校につながる活動もあり、見てもらいたかったです。）</p> <p>・ 療育と違い、園に来てくださるので援助方法や環境の整え方などこまめにやり取りができ、大変勉強になりました。集団の中で友だちと仲良く過ごせるようになるためには今回のような形が合っていたように感じたので、今後も訪問支援が増えていくと良いなと思いました。</p>				<p>・ 園生活でのマカトンサインの導入については、マカトンサインを先生やクラスの子どもたちが共有しやすい方法で提案していきます。</p> <p>・ 欠席になった場合の振り替えについては、振り替えが必要かつ訪問先の園との調整が可能な場合とします。欠席をしたら全て振り替えるのではなく、事業所として、振り替えの条件を定めます。園の行事との兼ね合いを考慮します。</p> <p>・ 訪問支援の内容と時間調整は、いつ、どのような手段で連絡するのか（電話、FAX、メール等）、又、どなた宛てに連絡するのかを訪問先の先生と協議して決めます。</p> <p>・ 今後も園と協力して保護者の参加がしやすいよう配慮していきます。</p>	